

食料システム

公益財団法人 食品等持続的供給推進機構

Organization for Sustainable Food Supply System

<https://www.ofsi.or.jp/>

食料システム法の施行により当機構の名称を変更いたしました

2026

3月号

No.363

I N D E X

- 巻頭言 ②
- 食品等持続的供給対策事業のご案内 ③
- 第35回 優良経営食料品小売店等表彰事業受賞店決定 ④
- 食品等持続的供給対策債務保証事業のご案内 ⑤
- 〈農林水産省〉
「2025年の農林水産物・食品の輸出実績」が
取りまとめられ、2月3日に公表されました ⑥
- 〈商工中金〉
商工中金景況調査（2025年11月・トピックス調査）
「中小企業の賃上げの動向について」の公表について ⑦
- 農林水産統計情報 ⑧

巻 頭 言

先日、世田谷文学館で開催されているドナルド・キーン展に出かけた。その直前、日経夕刊「明日への話題」というコラムに元消費者庁長官の坂東久美子さんがこの特別展を見に行かれたことについて書かれているのを見つけ、にわかに思い立ったものである。

展示は主としてドナルド・キーンが日本において交友関係を結んだ主な人物を軸にその人との関係を物語る手紙、著作や写真などを展示する形で構成されていた。終生の友人となった永井道雄、嶋中鵬二や三島由紀夫、谷崎潤一郎、安部公房などの作家、等々錚々たる文化人が名を連ねていた。

かつてからキーンに対しては興味を持っていたが、私がキーンにより一層強い関心を持つに至ったのは、彼が日本文学を志す上において大きなきっかけとなったのが同氏がニューヨークの本屋で偶然目にした源氏物語のウェイリーの英訳を読んで深く感動したという事実があることを知ったからである。のちに菊池寛賞を受賞した際に自分がウェイリーの為に賞を受けているような気がすると述べ「私に靈感を与えたウェーリーの信じられないほど素晴らしい翻訳の先例がなかったなら、果たして私は日本文学の美しさを世界に伝えるという試みに自分の生涯を捧げていたかどうかかわからない」とその自伝に記している。ちなみに、上記のドナルド・キーン展にはキーンとウェイリーとの関係が展示対象としてやや物足りなかったのが残念であった。

キーンは数ある源氏物語の英訳の中でウェイリー訳が最も優れているという考えをずっと持っていたといわれる。源氏物語の英訳はウェイリーのほかにサイデステッカーやタイラーも試みているが、そしてサイデステッカーはキーンの親しい友人であったけれども、ウェイリーの訳がはるかに優れているという考えは微動だにしなかったとのことである。キーンはウェイリーとケンブリッジ滞在中にも交流があり、後日ウェイリーの夫人の病状篤く明日をも危ぶまれる中でウェイリーからの手紙での懇請を受けてニューヨークからわざわざロンドンのウェイリーのアパートを訪問するくらい、ウェイリーとも親しい関係であった。しかし、ウェイリーとの親しさがその英訳の優劣の比較に影響したとは思えない。

私は常々キーンは日本文学の学者として極めて優れておりもっと高く評価されてしかるべきだという考えを持っていた。もちろん、キーンと親交のあった文人たちは、キーンの日本文学や日本文化についての造詣の深さやその豊かな見識に魅了されていたと見られるが、キーンに対する評価はもっと広がり深さがあるべきであるとの思いが強い。みんながそうとは言わないが、日本人の中には、外国人が日本文学を研究して著作をするということに対して強い偏見があり、外国人に日本文学が本当には理解できるはずがないという考えがどうしてもつきまとう。(キーン自身も、そういう目で見られることに非常に敏感であったという話もある。)また、日本の日本文学を専門とする学会や学者たちは閉鎖的で、新しい視点で研究し著作をする者を受け入れようとしない悪い習慣がある。

日本の文学研究を専門とする人は、非常に細かい論点を研究し自分たちの了解する「文学」の世界にとどまっている嫌いがある。それに対しキーンは文学をもっと広く捉え、小説、詩歌、戯曲だけでなく古事記、日本書紀などの歴史書、漢文学、日記や紀行文学、江戸蘭学者の著作などまで研究対象としている。しかも日本人にはないコスモポリタンとしての視点から対象を分析することから、その著作には読み物として非常に面白いものがある。

これに関して、江戸時代の開明的な経済学者の本多利明の著作を中心として江戸期の日本人の西洋認識の展開の歴史を論じたキーンの「日本人の西洋発見 1720年～1830年」を紹介する中で、比較文化の泰斗、芳賀徹はキーンの仕事について次のように述べている。

「——日本の蘭学史の専門家たちと違って、キーン氏は『万葉集』から芭蕉、近松、谷崎までを論じ、翻訳する文人学者として、その自由、柔軟な知的感受性をもって、杉田玄白、本多利明から司馬江漢、大槻玄沢に至る蘭学系知識人の文章を読んでいるらしいことがわかった——。それは逆に言えば、日本の国文学者ならば普通脇においておくか無視するかして、文学史上にはめったに扱わない彼らの著作を、キーン氏は遠慮なく一種の文学作品として読み、評価している、——」(芳賀徹 「文明の庫 Ⅰ」280頁)

日本人は文学と言えば、夏目漱石や森鷗外に代表される小説や、俳句、短歌などに限った捉え方をするが、例えば、フランクリンの自伝や、福翁自伝などを文学作品であるとみなして読み解き論ずることが少ない。キーンは日本の国文学者のこういう見方にとらわれず、文学をより広く捉えて膨大な文献、書物を読み、評論し、翻訳した。

ドナルド・キーンがもっと高く評価されてしかるべきだと思う所以である。

公益財団法人 食品等持続的供給推進機構
会長 村上秀徳

食品等持続的供給対策事業のご案内

事業のしくみ

食品等の持続的な供給を実現するための「食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律」（食料システム法）に基づく「安定取引関係確立事業活動等及び連携支援事業」の一環として、食品等の持続的な供給の実現を図るための事業活動の促進に必要な製造・加工・流通または販売に係る設備等（以下「設備等」）の導入を支援する事業

支援の内容

- 設備等の導入資金の10分の9相当額を食料システム機構が導入時に貸与
- 7ヶ年以内に食料システム機構に返済（無利息）

対象者

- 食品等事業者または食品等事業者を構成員とする法人（以下「食品等事業者等」）

参加要件

- 食料システム法に基づく安定取引関係確立事業活動計画、流通合理化事業活動計画、環境負荷低減事業活動計画若しくは消費者選択支援事業活動計画または連携支援計画について、農林水産大臣の認定を受けていること。

改正のポイント

1. 対象事業計画等の拡充
食品等流通法に基づく「食品等流通合理化事業計画」が、食料システム法に基づく、食品等の製造から加工、流通、販売に至る食料システムに関する
①安定取引関係確立事業活動計画 ②流通合理化事業活動計画
③環境負荷低減事業活動計画 ④消費者選択支援事業活動計画等
に拡充強化され、対象設備も拡大
2. 支援内容の充実強化
(1) 設備導入資金の3分の2相当額から10分の9相当額に支援額を増額
(2) 返済期間を5年以内から7年以内に延長
3. 対象者
食品等事業者または食品等事業者を構成員とする法人

対象設備等について（食料システム法の各計画に対応）

類型	設備目的	設備内容
①安定的な取引関係の確立	農林漁業者と食品等事業者の連携に必要な製造・加工設備の整備等	省資源型食品等製造設備、多温度帯輸送車等物流近代化設備、食品等特性適応型冷蔵・冷凍ショーケース等品質管理設備等
②流通の合理化	食品等事業者の流通の合理化のために必要な設備の整備等	業界適応型POS（販売時点情報管理システム）、EOS（商品補充発注システム）等情報処理システム、多温度帯輸送車等物流近代化設備、食品等特性適応型冷蔵・冷凍ショーケース等品質管理設備等
③環境負荷低減の促進	食品等事業者の環境負荷低減を図るために必要な設備の整備等	省資源型食品等製造設備、発泡スチロール処理装置等公害防止装置、太陽光パネル利用による発電機器、高効率照明（LED照明）等
④消費者の選択への支援	消費者の食品等の選択に資する情報の伝達を図るための設備の整備等	売場やショッピングカート等のディスプレイ設備、電子ポップ設備等

問い合わせ先

食料システム機構 業務部 TEL：03-5809-2176

第35回 優良経営食料品小売店等表彰事業受賞店決定

当機構では、農林水産省及び日本経済新聞社、そして日本政策金融公庫にご後援いただき、「優良経営食料品小売店等表彰事業」を実施しています。

この事業では、経営内容、仕入の工夫、販売促進、店舗管理、コスト削減、情報管理、人材育成等に焦点をあて、斬新な経営技術と業種の特性を發揮し、地域社会に密着しつつ収益性と成長性の高い経営により業績を上げている食料品小売店や商店街を発掘のうえ、表彰を行っています。

このたび2回の審査委員会を経て、下記各賞合計35点の受賞が決定しました。

表彰式典については、令和8年2月19日（木）に東京都新宿区ホテルグランドヒル市ヶ谷にて執り行われました。

各店舗の経営ノウハウデータはホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

<https://www.ofsi.or.jp/concours/rireki/>

第35回 優良経営食料品小売店等表彰 受賞店

（敬称略・屋号略）

農林水産大臣賞（3店）

業種	店舗名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業（鮮魚）	町の小さな魚屋さん 千林江山	十楚 武司	大阪府大阪市旭区
専門食料品小売業（米穀）	株式会社米蔵家	山本 恒久	愛知県知立市
専門食料品小売業（パン）	株式会社r-joule	松尾 裕生	兵庫県神戸市中央区

農林水産省大臣官房長賞（6店）

業種	店舗名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業（青果）	株式会社サンフレッシュ	村川 明弘	北海道札幌市東区
専門食料品小売業（牛乳）	小岩井牛乳二戸販売店	佐藤 真	岩手県二戸市
専門食料品小売業（パン）	パンドクエット	柏原 くみ子	愛知県清須市
専門食料品小売業（菓子）	株式会社結び	田中裕士・田中咲子	広島県三原市
専門食料品小売業（惣菜・弁当）	みつばち食堂	櫻庭 仁乃	愛知県安城市
総合食料品小売業	株式会社ヤマトク	小幡 大治	宮城県宮城郡利府町

日本経済新聞社賞（6店）

業種	店舗名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業（青果）	久本青果	久本 陽平	福岡県福岡市東区
専門食料品小売業（牛乳）	株式会社デサフィオ	金子 恭士	東京都八王子市
専門食料品小売業（パン）	Pave nature	西村 綾	京都府乙訓郡大山崎町
専門食料品小売業（菓子）	有限会社高山製菓	高山 信吾	千葉県南房総市
総合食料品小売業	柚野商店	平野 映子	静岡県富士宮市
総合食料品小売業	有限会社富村商店	富村 義勝	佐賀県西松浦郡有田町

日本政策金融公庫総裁賞（6店）

業種	店舗名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業（酒）	株式会社下村酒造店	下村 元基	兵庫県姫路市
専門食料品小売業（米穀）	株式会社のだや	野田 博司	愛知県豊川市
専門食料品小売業（パン）	有限会社パンあづま屋	東 和央	石川県小松市
専門食料品小売業（菓子）	有限会社羽前屋	土井 淳司	北海道北見市
専門食料品小売業（菓子）	木村屋本舗	木村 英雄	茨城県水戸市
専門食料品小売業（菓子）	おやつ屋micoppe	山崎 奈美子	静岡県周智郡森町

(公財) 食品等持続的供給推進機構会長賞 (14店)

業種	店舗名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業 (鮮魚)	恵庭高橋	高橋 健哉	北海道恵庭市
専門食料品小売業 (鮮魚)	ツルヤ	沖井 雅裕	京都府京都市左京区
専門食料品小売業 (食肉)	竜城まる光精肉店	磯村 美枝	愛知県岡崎市
専門食料品小売業 (食肉)	株式会社肉匠寿善	住吉 昭文	奈良県北葛城郡河合町
専門食料品小売業 (食肉)	山口精肉店	山口 明宏	愛媛県宇和島市
専門食料品小売業 (牛乳)	神吉商事有限会社	神吉 洋行	茨城県土浦市
専門食料品小売業 (牛乳)	株式会社クエスト	澤田 厚	滋賀県湖南市
専門食料品小売業 (菓子)	有限会社風月堂	小笠原 優	岩手県盛岡市
専門食料品小売業 (菓子)	株式会社ふるさとや	藤館タキ子・長峰典子	岩手県盛岡市
専門食料品小売業 (菓子)	有限会社菓子工房デコレ	梅村 滋生	愛知県豊田市
専門食料品小売業 (菓子)	株式会社ジョエル	木山 寛	大阪府大阪市中央区
専門食料品小売業 (菓子)	有限会社寿提夢	栗林 基喜	愛媛県宇和島市
専門食料品小売業 (その他 (水産加工品))	株式会社越田商店	越田 喜一郎	富山県水見市
総合食料品小売業	株式会社浅井三姉妹の郷	今井 兼房	滋賀県長浜市

食品等持続的供給対策債務保証事業のご案内

当機構では、特定の法律に基づく計画の認定を受けた事業者等の方々が、その認定事業の実施等に必要な資金について調達が円滑に行えるよう民間金融機関から借り入れる場合の債務保証事業を行っています。

■対象事業

1. 食品等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律（食料システム法）に基づく認定安定取引関係確立事業活動等又は認定連携支援事業
 2. 中心市街地の活性化に関する法律（中心市街地活性化法）に基づく認定食品流通円滑化事業
 3. 中小企業等経営強化法に基づく承認経営革新事業又は認定経営力向上事業
 4. 流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律（物流総合効率化法）に基づく認定総合効率化事業
 5. 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律（地域未来投資促進法）に基づく承認地域経済牽引事業
 6. 中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律（農商工等連携促進法）に基づく認定農商工等連携事業
 7. 米穀の新用途への利用の促進に関する法律（米粉・エサ米法）に基づく認定生産製造連携事業
 8. 地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（六次産業化・地産地消法）に基づく認定総合化事業又は認定研究開発・成果利用事業
 9. 農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（輸出促進法）に基づく認定輸出事業
- 注) このほか、輸出促進法に基づく認定農林水産物・食品輸出促進団体が行う輸出促進業務（運転資金のみ1団体当たり8千万円以下、保証期間1年以内、借入金元本等の50%）がございませう。

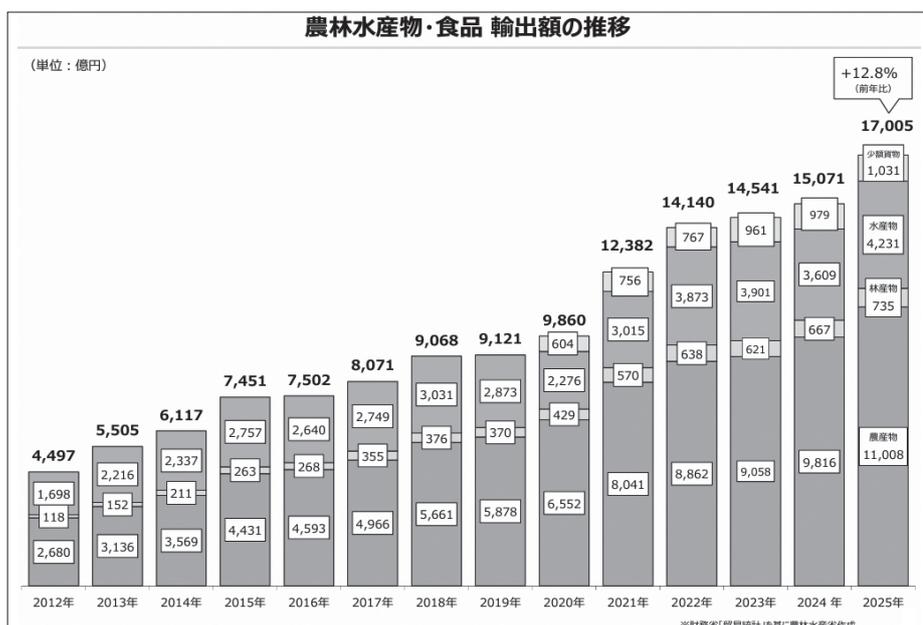
概要や申込に当たってのQ&Aを下記に掲載していますので、ご覧下さい。

- ・当機構HP <https://www.ofsi.or.jp/saimu/>
- ・パンフレット https://www.ofsi.or.jp/file/strct_dept/saimu/saimu_pr20251001.pdf

〈農林水産省〉「2025年の農林水産物・食品の輸出実績」が取りまとめられ、2月3日に公表されました

～主要輸出先国・地域のすべてで対前年比でプラスを記録し、13年連続で過去最高を更新～

- 2025年の農林水産物・食品の輸出額は、1兆7,005億円となり、前年比で12.8%の増加、+1,934億円の増加となりました。
- 輸出額の内訳は次のとおりです。
 - 農産物：11,008億円（対前年比+12.1%）
 - 林産物：735億円（対前年比+10.1%）
 - 水産物：4,231億円（対前年比+17.2%）
 - 少額貨物：1,031億円（対前年比+5.3%）



- 輸出先は、1位が米国、2位が香港、3位が台湾でした。

	金額	前年差	前年比
1-12月累計 (少額貨物を含む)	17,005億円	+1,934億円	+12.8%
うち米国	2,762億円	+333億円	+13.7%
うち香港	2,228億円	+18億円	+0.8%
うち台湾	1,812億円	+109億円	+6.4%
うち中国	1,799億円	+118億円	+7.0%
うち少額貨物	1,031億円	+52億円	+5.3%

- 全体の状況（1-12月）
 - 主要輸出先国・地域のすべてで対前年比でプラスを記録し、13年連続で過去最高を更新しました。
 - 米国向けについては、4月から関税措置が導入されたものの、緑茶や牛肉に対する旺盛な需要を背景に、対前年比13.7%増加の2,762億円を記録したほか、日本産水産物の輸入規制の影響が残る中国向けについても、対前年比7.0%増加の1,799億円を記録しました。
 - 品目別では牛肉、米、緑茶、ぶりなどが、国・地域では、米国、台湾、韓国などが過去最高を記録しました。
 - 関係者の聞き取りでは、日本食への関心の高まり、インバウンドによる日本食の認知度向上、健康志向の高まり等を背景に、既存商流における取扱量の拡大や新規商流の獲得などが輸出増加の要因でした。

5. 個別品目の状況

輸出額の増加が大きい輸出重点品目

○**緑茶**：+357億円：欧米・ASEAN向け等が健康志向や日本食への関心の高まり等を背景に、ラテやスイーツ等の食品原料となる抹茶を含む粉末状茶を中心に増加。

○**ホタテ貝**：+211億円：ベトナム向けが加工用の冷凍両貝に加え、玉冷の現地加工の拡大等により増加。

○**ぶり**：+113億円：米国向けが2024年夏の環境変化による成長の遅れに伴う輸出時期の後ろ倒しのほか、脂の乗った大型サイズの需要の高まり等で単価上昇により増加。

6. 詳細につきましては、以下の農林水産省HPをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/260203.html

〈商工中金〉商工中金景況調査（2025年11月・トピックス調査） 「中小企業の賃上げの動向について」の公表について

1. 商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感をはじめとする実態把握のため、景況調査を実施しています。今般、2025年11月調査のうち、トピックス調査分の結果が1月16日に公表されました。

（注）2025年12月11日公表の「【速報版】中小企業の賃上げの動向について」の詳細版になります。

2. ポイントは、以下のとおりです。

〈2025年の賃金増減実績見込・2026年の賃金増減予定

／2025年、2026年の定例給与・時給の引き上げ（引き下げ）率〉

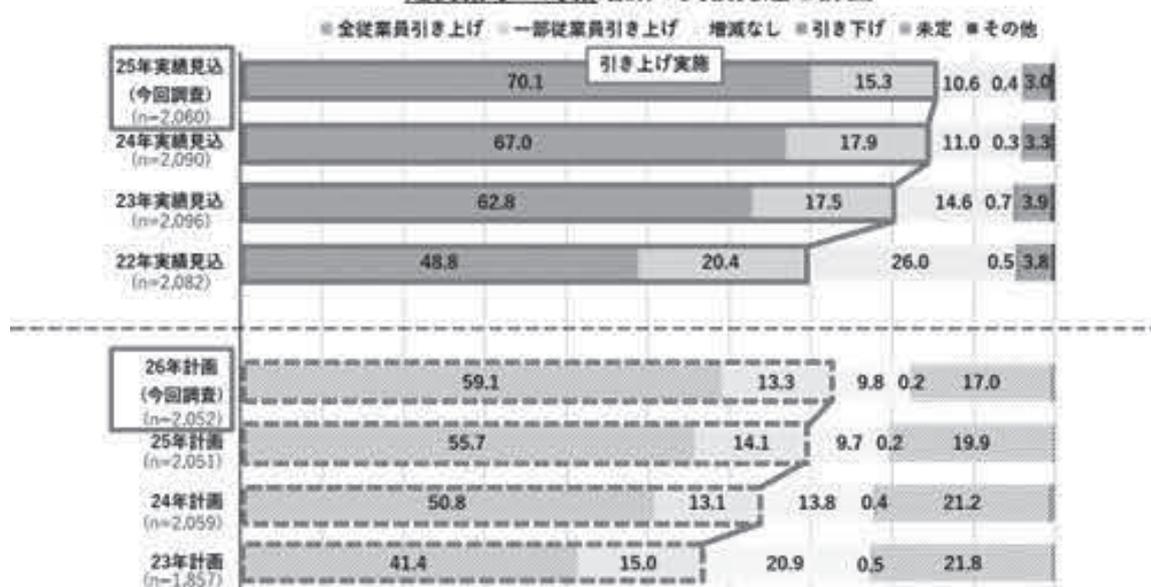
○「定例給与・時給」について2025年の実績見込では8割強の企業が引き上げ。

○2026年計画について賃上げを計画する企業は7割強。前年同時期調査の2025年計画と比較して高い。

○一定の前提をおいて試算した定例給与・時給の平均引き上げ率は、2025年実績見込で3.35%と、前年同時期の2024年実績見込並を維持。

○2026年計画は3.03%と、前年同時期の2025年計画2.90%をわずかに上回った。

定例給与・時給増減の実績見込と計画



3. 詳細については、以下の商工中金HPをご覧ください。

https://www.shokochukin.co.jp/assets/pdf/nr_251226_02.pdf

<https://www.shokochukin.co.jp/report/data/assets/pdf/topics260116.pdf>

農林水産統計情報

令和7年4月～令和8年3月までの公表予定より

(https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index_nenkan_r7-12.pdf)

農林水産省（大臣官房統計部及び各局庁等）が公表している農林水産統計について、3月に掲載予定されている生産・流通に関する資料名の一部を紹介します。

資料名	収録内容	担当課（室）
大臣官房統計部		
作物統計調査 令和7年産飼料作物の 作付（栽培）面積及び収穫量、 えん麦（緑肥用）の作付面積	全国・主産県別・田畑別の 作付（栽培）面積、 10a当たり収量及び収穫量	生産流通消費 統計課
令和6年漁業産出額	魚種別産出額、 都道府県別海面漁業・養殖業産出額等	経営・構造 統計課
牛乳乳製品統計調査結果 （令和7年基礎調査）	全国の経営組織別、生乳処理量規模別、 常用従業者数規模別の 牛乳処理場・乳製品工場数等	消費統計室
畜産物流通調査 令和7年鶏卵流通統計調査結果	全国・都道府県別の鶏卵の生産量	消費統計室
令和6年度 6次産業化総合調査結果	農業経営体等による農業生産関連事業及び 漁業経営体等による漁業生産関連事業の 販売金額、従事者数等	消費統計室
令和6年農業・食料関連産業の 経済計算（概算）	農業・食料関連産業の国内生産額等	統計企画管理官

編集後記

毎年バレンタインにちょっと高級なチョコレートを買うのを楽しみにしているのだが、近年あまりの値上がりぶりに買うのを躊躇してしまう。『カカオ2050年問題』もあり、最近ではひまわりの種などで作ったチョコレート代用品も話題となっている。来年はもっと値上がりしているのだろうと意気消沈していたら、カカオが値上がりし過ぎてカカオ離れが進み価格が下落しているという記事を見つけた。国内のチョコレート価格に反映されるのは半年から1年後らしい。どうやら来年のバレンタインも楽しめそうだ。(s)

編集

食料システム

◆2026年3月号／通巻363号 ◆令和8年3月1日発行

公益財団法人 食品等持続的供給推進機構
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-5 第1東ビル 6F
☎ 03-5809-2175 📠 03-5809-2183
✉ info@ofsi.or.jp 🌐 <https://www.ofsi.or.jp/>

☐総務部 ☎ 03-5809-2175
☐業務部 ☎ 03-5809-2176

▼再生紙を使用しています。